

大学のまち・左京

「左京区 大学と地域の相互交流促進事業」

ニュースレター



第3号

発行日 平成21年12月24日

発行者 左京区役所区民部総務課

Tel 771-4235

Fax 771-6900

左京区は、6つの大学が集まっており、まさに「大学のまち・左京」です。
この特性を生かしたまちづくりを進めるため、左京区役所では、大学と地域との協働の取組に助成金の交付などの支援を行う「左京区 大学と地域の相互交流促進事業」を行っています。

この事業を、区民の皆さんや大学生・教職員の皆さんなどの多くの方に知っていただき、大学と地域との協働の取組をより促進するため、ニュースレターでお知らせしています。

平成21年度支援対象事業	吉田剣鋒保存会と京都大学との相互交流促進事業
	左京節分物語—豆まき起源伝承の発掘とマップ作成
	自然と遊ぼう！7
	地元伝統資源の発見交流を通じた継続的な松ヶ崎周辺地域コミュニティづくり事業
	古絵図にみる洛北地域の町並みと文化の再発見

今回の特集は、地元伝統資源の発見交流を通じた継続的な松ヶ崎周辺地域コミュニティづくり事業です。

この事業は、松ヶ崎小学校学校運営協議会、松ヶ崎はっけん実行委員会、松ヶ崎小学校おやじの会の連携によるもので、松ヶ崎小学校の運動会や京都工芸繊維大学の学園祭での活動を展開するとともに、地域全体を対象にした意識調査などを実施してきました。

この事業の報告会を兼ねて、松ヶ崎の歴史遺産について学び、松ヶ崎のこれからの地域活性化について話し合うことを目的に、講演&オープンディスカッションが開催されました。

小学校を中心とした教育環境整備の支援を行っています

松ヶ崎小学校と京都工芸繊維大学との連携を軸に地域の交流やまちづくりに取り組んでいます

保護者交流を通じた教育環境づくりを支援しています

松ヶ崎歴史遺産シンポジウム

日時 平成21年12月5日(土) 午後1時30分～4時
場所 松ヶ崎小学校ランチルーム
参加者数 約100名

今回のシンポジウムを通じて、地域の皆さんは、大学の学生の調査によって松ヶ崎の火と水の文化を再認識・再発見されたことと思います。また、学生の皆さんにとっては、通学する松ヶ崎のことを改めて知るとともに、地域の方との交流を深めることができたのではないのでしょうか。安心・安全や文化などをキーワードに地域・小学校・大学の連携によるまちづくりを進めてこられた松ヶ崎の皆さんの更なる活動に期待がふくらみます。



会場の様子です。京都工芸繊維大学の学生の皆さんが製作した模型とマップが展示されました。

第1部「松ヶ崎の火と水の文化」

妙法を語る

松ヶ崎妙法保存会の北野正彦会長からの妙法の送り火に関する講演がありました。

以前に毎日放送で放映された「美の京都遺産」の上映の後、松ヶ崎妙法送り火の歴史や保存・継承の課題などについてのお話がありました。特に、松ヶ崎の松がなくなり、松割木が確保できなくなったとの課題が報告されました。昔は、松ヶ崎は松で覆われていたそうです。



地域と出会う —松ヶ崎下鴨 地域を知る—

京都工芸繊維大学大学院プロジェクトチームの皆さんから「Hello 伝統工芸プロジェクト」の一環として実施した調査の報告がありました。

「Hello 伝統工芸プロジェクト」は、学生が地域のことを深く知るために調査を行っており、松ヶ崎は昔から水との深いかわりがあったことなどを調べて発表しました。

地域の方の声

今日のシンポジウムで、小学校、大学、地域が協力して行っている取組のことがよくわかりました。初めて知ることも多く、いい取組だと思いました。

学生の声

マップ作りなどを通じて、大学のある松ヶ崎地域のことを改めて知りました。特に、地域の文化はよく知らなかったので本当に勉強になりました。

【会場アンケートから】

- ◇松ヶ崎のことがよくわかり、もっと歴史を知りたくなりました。
- ◇大学の垣根が低くなり、身近に感じるようになりました。
- ◇松ヶ崎に転居してきたので、非常に興味深い取組と感じました。
- ◇地域と大学の協働は、互いをよく知ることが大事だと思います。
- ◇恵まれたこの環境・景観を次の世代に引き継いでいきたいと思います。
- ◇多くの人に地域と大学の協働を知ってほしいと思います。
- ◇地域の行事に学生が参加するようになって活気付いたと感じます。
- ◇地域の取組は、伝統行事がキーワードだと思います。

第2部「伝統継承と展望」

松ヶ崎意識調査アンケート等の総括

京都工芸繊維大学の学生さんから、地域の方に対して実施していたアンケートの調査報告がありました。地域の方は宝が池、高野川、妙法送り火などにとっても関心が高いことがわかりました。

地域活動については、どのように関わっていけばいいのかわからないといった声もあったとのことでした。



松ヶ崎の水資源

松ヶ崎に長く住んでおられる岩崎皓さんから、松ヶ崎の水資源について、過去の文献や地域に伝わる話を基にした講演がありました。講演では、松ヶ崎の川の流れを作った土木技術は非常に優れたものであることを強調されていました。地域をよく知る方の熱心なお話に学生をはじめ参加者は聞き入っていました。



小学校の取組

松ヶ崎小学校の白石悦徳校長から、松ヶ崎小学校及び学校運営協議会の取組報告がありました。

松ヶ崎小学校の子どもたちにとっては、松ヶ崎の火の文化、水の文化は生きた教材であるとのことでした。また、京都工芸繊維大学との小大連携についても積極的に取り組んでおり、大学との交流は子どもたちの学習の動機にもつながるとの報告がありました。



第4号は、京都精華大学人文学部真下研究室による「左京節分物語—豆まき起源伝承の発掘とマップ作成」を掲載する予定です。